



### 障害者差別解消法の理解に向けた 学校教育の充実を

緑水クラブ 横溝 泰世  
一 障害者差別解消法に伴う学校教育について

問 いじめ、暴行、虐待の根幹は、差別や偏見が生み出すものと考えられるが、障害者差別解消法にある合理的配慮について教育現場での指導はどのようか。

答 教職員への研修は、対象者や内容を変え、きめ細やかに取り組んでいる。障害者差別解消法の正しい理解や合理的配慮を踏まえた教育活動の在り方について、教職員全体で理解を深めるよう努めている。

要望 人が人として生活し、お互いが寄り添い、理解し合えるよう、地域、保護者、学校が一体となった環境づくりを学校教育の中で取り組んでほしい。  
二 公共施設等の安全管理対策について



教育現場における障害者差別解消法の正しい理解を(写真は教育庁舎)



### 既存の公共施設を利活用し 魅力ある施設運営に努めよ

創奏クラブ 谷 和雄  
一 公共施設の利活用について

問 表丹沢野外活動センターは、研修棟や炊事棟などが整備され、宿泊を伴う多くの活動ができる。今後、「森林遊び場(仮称)」と、「昔の生活学習館(仮称)」が建設されるが、これらの施設を生かした取り組みはどのようか。

答 従来の施設利用に加え、活動の選択肢が多くなるため、今以上に利用者の満足度を高めていきたい。  
問 風呂棟は宿泊者のみの利用だが、幅広く市民に利用してもらいたい。



### 市長は、土地売買契約を守らない事業者への 墓地経営許可を取り消せ

日本共産党 露木 順三  
一 上下水道施策について

問 秦野市管工事協同組合は市長宛てに、民間事業者による工事検査業務などを委託することに反対する要望書を提出した。申請書審査は上下水道局が行い、検査を民間事業者が行うと一体性がなく、馴れ合いなど悪習が発生すると思われることだがどのようか。

答 双方で公正な職務遂行を図る先決すべきである。  
問 横浜市と川崎市では、小児医療費助成拡大に当たり、通院一回当たり500円を限度に一部自己負担金制度を導入するようだが、その意味するところはどのようか。

答 平成29年4月に小学3年生から6年生に医療費助成を拡大するに当たり、一部負担金制度を導入するもので、横浜市会ですでに可決されている。小児医療費助成を長期的に持続可能な制度とするための措置であり、本市でも負担金の導入を検討する時期に来ていると考える。



間伐材を利用した生ごみ処理箱の製作



利用対象の拡大など利用基準の見直しを(写真は表丹沢野外活動センター風呂棟)

ため利用基準を見直しはどうか。  
答 風呂棟の一般開放は、旅館業法の許可などの課題があるが、法令の規制なども含め検討していく。  
要望 宿泊者以外も風呂棟が利用できれば、さらに市民に親しまれ、子どもから高齢者まで気軽に利用できる施設になると考えられる。今後、利用基準の見直しと、周辺整備に取り組みしてほしい。  
問 パークゴルフ場建設に向け多くの候補地があるが、表丹沢野外活動センターや、はだのクリーンセンター隣に整備される名水はだの富士見の湯など、風呂を併設したい。

ため、役割分担や責任をしっかりと認識し、適正に処理していく。  
問 公道上で漏水が多く起きた場合、個人の費用で修理するよう言われたことだが現状はどうか。  
答 二次災害の未然防止のため、上下水道局が修理しているが、漏水が多発している箇所は、新しい管路に取り換える方法も提案している。今後は、誤解のないよう、きめ細やかな説明をしていきたい。

三 渋沢丘陵霊園建設について  
問 55筆の土地権利者と霊園事業者が締結した土地売買契約書の所有権移転日に1筆だけ登記簿上霊園事業者へ所有権移転されていない。契約を守らない時点で墓地経営許可を取り消すべきだがどうか。  
答 売買契約は有効に成立しており、本市の墓地経営許可は無効ということはない。

## 議会の動向

- 8月
  - 17日(水)・代表者会議・議員連絡会・議会運営委員会
- 9月
  - 1日(木)・議会運営委員会
  - 5日(月)・市議会第3回定例会開会【傍聴者数1人】  
・代表者会議・議会運営委員会
  - 7日(水)・本会議(議案審議)【傍聴者数45人】  
・予算決算特別委員会(初委員会)  
・代表者会議・議会運営委員会
  - 12日(月)・予算決算特別委員会(総括質疑、歳入の審査)【傍聴者数1人】
  - 13日(火)・予算決算特別委員会(総務分科会)
  - 14日(水)・予算決算特別委員会(文教福祉分科会)【傍聴者数1人】
  - 15日(木)・予算決算特別委員会(環境都市分科会)
  - 20日(火)・総務常任委員会【傍聴者数2人】  
・予算決算特別委員会(総務分科会)
  - 21日(水)・文教福祉常任委員会【傍聴者数2人】  
・予算決算特別委員会(文教福祉分科会)【傍聴者数2人】
  - 23日(金)・環境都市常任委員会  
・予算決算特別委員会(環境都市分科会)
  - 27日(火)・本会議(一般質問)【傍聴者数38人】  
・代表者会議
  - 28日(水)・本会議(一般質問)【傍聴者数38人】  
・議会運営委員会
  - 29日(木)・本会議(一般質問)【傍聴者数14人】  
・代表者会議
- 10月
  - 5日(水)・議会運営委員会・予算決算特別委員会  
・市議会第3回定例会閉会【傍聴者数1人】  
・議会運営委員会・議会報編集委員会
  - 11日(火)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第3回定例会
  - 14日(金)・代表者会議・議員連絡会
  - 27日(木)・文教福祉常任委員会【傍聴者数8人】
- 11月
  - 10日(木)・議会報編集委員会
  - 16日(水)・代表者会議・議員連絡会・文教福祉常任委員会
  - 18日(金)・議会運営委員会

## 県立秦野総合高校で出前講座を開催

### ～高校生234人が「議会と選挙」について学習～

11月1日(火)に、議会事務局と選挙管理委員会事務局の職員が県立秦野総合高校に出向き、2年生の生徒234人に、「議会と選挙」について説明をしました。今回の出前講座は、議会事務局と選挙管理委員会事務局が主権者意識の向上と選挙啓発のため、初めて合同で行いました。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、主権者教育の一環として、生徒たちは、議会の役割や議員の活動、選挙のしくみについて学習しました。

### 議会のしくみ、聞いてみませんか?

議会事務局では、市民の皆さんの疑問にお答えするため、出前講座を実施しています。学校の授業、自治会や職場の研修会などを開催するときに、議会のしくみを学んでみませんか。お気軽にお問い合わせください。(☎0463-82-9652)



出前講座の様子